NEC

LaVie Y

ユーザーズマニュアル

USER'S MANUAL

目次

853-811064-265-A
2012年11月 初版

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

⚠注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
とくに重要	してはいけないことや、必ずしていただきたいこと、とくに大切な注意を説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、人が傷害を負ったり、費用が必要になったりする可能性があります。また、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性もあります。
重要	注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンをお使いになる際のヒントやポイントとなる説明です。
参照	関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】	**【　】**で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
『　』	『　』で囲んである文字は、このマニュアル以外のマニュアル名を指します。
DVD/CDドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)、ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチドライブ機能付き)(BDXL™対応)、またはDVDスーパーマルチドライブなどの総称です。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

「このパソコンのモデル構成について」をご覧になり、ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン、本機	このマニュアルで説明している各モデル(機種)を指します。
Windows RTモデル	Windows RTがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2013 RT Previewモデル	Office 2013 RT Previewが添付されているモデルのことです。
11nテクノロジー対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	IEEE802.11b/g(2.4GHz)およびIEEE802.11n(2.4GHz)の規格に対応したワイヤレスLANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。

◆このパソコンのモデル構成について

このパソコンはモデルごとに次のような機能で構成されています。ご購入いただいたモデルにどのような機能があるかご確認ください。

シリーズ名	型名(型番)	表記の区分			
		DVD/CDドライブ	ワイヤレスLAN	OS	添付ソフト
LaVie Y※	LY750/JW (PC-LY750JW)	—	11nテクノロジー対応ワイヤレスLAN(bgn)モデル	Windows RTモデル	Office 2013 RT Previewモデル

※:マウスは添付されておりません。

◆本文中の記載について

- 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
- 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。
- このマニュアルには、複数のモデルの内容が含まれているため、お使いのモデルによっては、本文中で説明している機能が搭載されていない場合があります。

◆周辺機器について

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
- 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、 Windows RT	Windows® RT
Windows Defender	Microsoft® Windows® Defender
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer® 10
タスク バー	Windows® タスク バー
Windows Update	Windows® Update
ユーザー アカウント制御	Windows® ユーザー アカウント制御

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守･修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare[SM] International Service]対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
(7) 本機の内蔵フラッシュメモリにインストールされているWindows® RTおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。

商標について

Microsoft、Access、Excel、Excel ロゴ、Office ロゴ、OneNote、Outlook、PowerPointは米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータ株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。
SDXC、SDHC、SD、microSDHC、microSD、ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
Aterm、WARPSTARは、日本電気株式会社の登録商標です。
Tegraは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC[*1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC[*1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)
Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Personal Computers, Ltd.

第1章

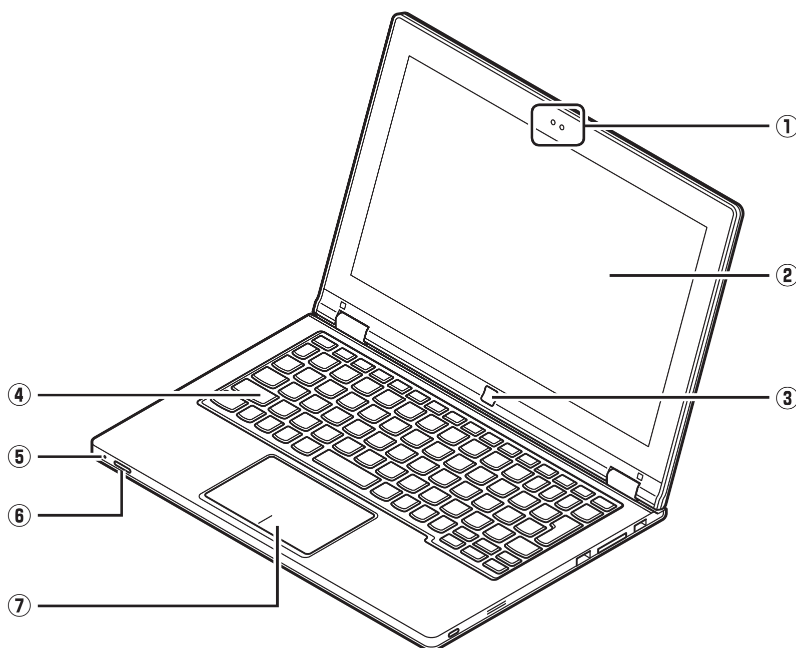
このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、
いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

このパソコンの添付品の確認は、『添付品を確認してください』をご覧ください。接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

各部の名称と役割

本体前面



①Webカメラ

画像を撮影することができます。

②マルチタッチスクリーン

タッチ操作でWindowsの操作をすることができます。

重要

ディスプレイを閉じるときにキーボードとのあいだにペンなどを挟まないようにしてください。ディスプレイが傷つくおそれがあります。

タッチ操作の方法について 参照『セットアップマニュアル』

③Windowsボタン

【 】として機能します。スリープ状態から復帰するときにも使用できます。タブレットのようなスタイルで使用している場合などキーボードが利用できないときに便利です。

④キーボード

キーを押して、文字を入力したり、画面の操作をしたりします。

Fnキーの使い方について 参照「キーボード」(p.15)

⑤バッテリ充電ランプ



バッテリの状態を示すランプ。

バッテリランプの状態	状態
白色に点灯	パソコンにACアダプタが接続されている。
オレンジ色に点滅	パソコンにACアダプタが接続されている状態で、バッテリ自体もしくはバッテリとの接続に問題がある。
消灯	パソコンにACアダプタが接続されていない。

・ACアダプタが接続されていない状態では、バッテリの残容量が少なくなると画面に警告が表示されます。
・バッテリの残容量はデスクトップの通知領域にあるまたはにマウスカーソルを合わせることで確認できます。

バッテリについて 参照「バッテリについて」(p.16)

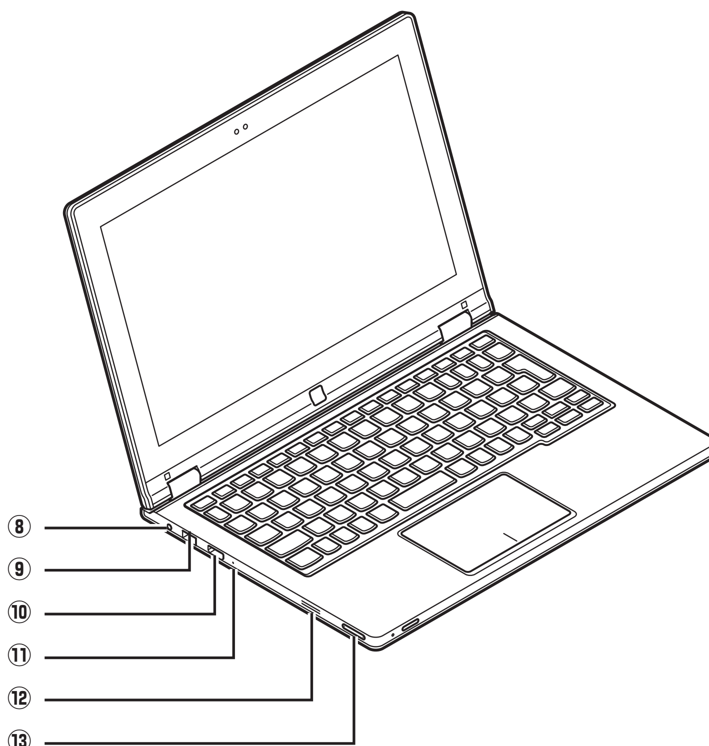
⑥電源スイッチ

電源を入れるスイッチ。省電力状態からの復帰にも利用します。ただし、電源を切る(シャットダウンする)ときは、チャーム バーを表示し、「設定」-「電源」-「シャットダウン」をクリックします。

⑦タッチパッド

タッチパッドを指先でなぞると、画面上のマウスポインタが動きます。画面やアイコンなどにマウスポインタを合わせ、パッドを押して操作します。

本体左側面



⑧ヘッドフォン/ヘッドフォンマイク端子



ヘッドフォンや外付けスピーカ(3極ミニプラグ)、スマートフォン用ヘッドフォンマイク(4極ミニプラグ)を接続する端子。



パソコン用マイクとして市販されているステレオマイクやモノラルマイクは使用できません。

⑨USBコネクタ



USB対応機器を接続するためのコネクタ。USB 2.0規格まで対応しています。USBコネクタに接続する周辺機器がこのパソコンで使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。

プラグにマークがあるものについては、マークが上を向くように差し込みます。

USBコネクタについて 参照 「USBコネクタ」(p.18)

⑩HDMIコネクタ

HDMI対応の大画面テレビや、HDMI端子を持つ外部ディスプレイなどを接続するためのコネクタ。

⑪内蔵マイク

動画を撮影するときなどに使用するマイク。

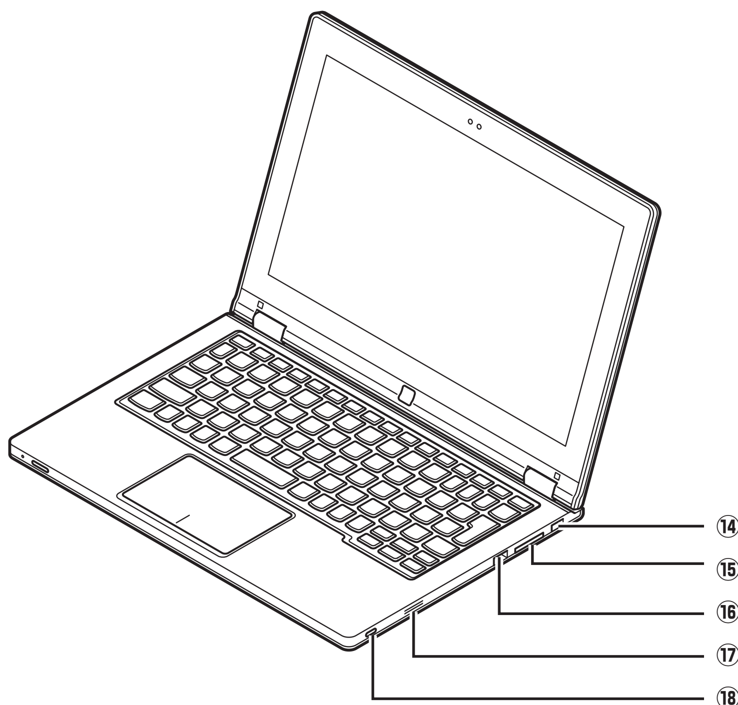
⑫スピーカー

音声を出力します。

⑬音量ボタン

音量を調節するボタン。手前を押すと音量が下がり、奥を押すと音量が上がります。

本体右側面



⑭DCコネクタ



ACアダプタを取り付けるコネクタ。

⑮SDメモリーカードスロット

「SDメモリーカード」を取り付けるスロット。メモリーカードの表面が上を向くように差し込みます。
SDメモリーカードスロットについて 参照「メモリーカードスロット」(p.16)

⑯USBコネクタ



USB対応機器を接続するためのコネクタ。USB 2.0規格まで対応しています。USBコネクタに接続する周辺機器がこのパソコンで使用できるかどうかは、周辺機器の製造元または発売元にご確認ください。
プラグにマークがあるものについては、マークが上を向くように差し込みます。
USBコネクタについて 参照「USBコネクタ」(p.18)

⑰スピーカー
音声を出力します。

⑱画面回転ロックボタン



このパソコンでは、本体の回転に合わせて画面が回転します。画面の回転のロックと解除はこのボタンで切り換えます。

いろいろなスタイルにして使う

このパソコンでは、タッチスクリーンを360度回転させていろいろな状態でパソコンを利用することができます。



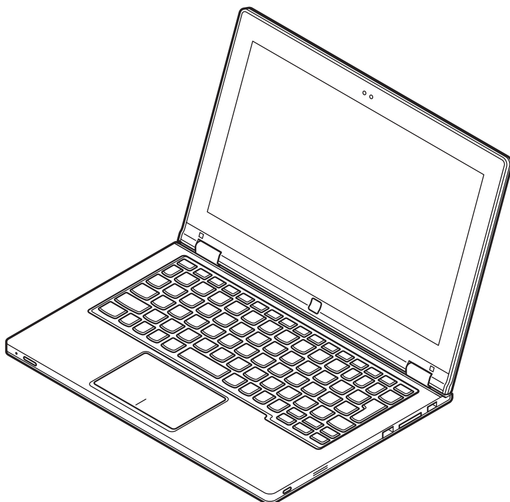
注意



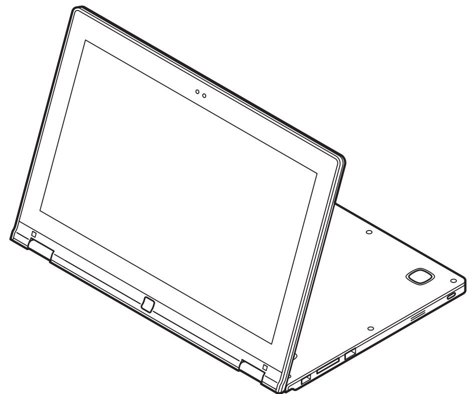
- **タブレット スタイル、フォトフレーム スタイル、スタンド スタイルの状態で机などに設置してご使用の際には、そのまま本体を引きずらないでください。パソコンに傷が付いたり、塗装がはがれたりする可能性があります。**
- **無理な力でディスプレイを開閉しないでください。ディスプレイやヒンジ部分が損傷するおそれがあります。**

・ディスプレイを約190度以上に開くとキーボードとタッチパッドは自動的にロックされます。
・タブレット スタイルで有効なのは次のボタンのみです。
　・Windowsボタン
　・音量ボタン
　・画面回転ロックボタン

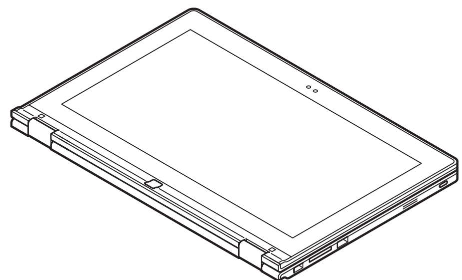
●ノートPC スタイル
文書やメールの作成などキーボードが必要な作業では、ノートパソコンのような形で作業ができます。



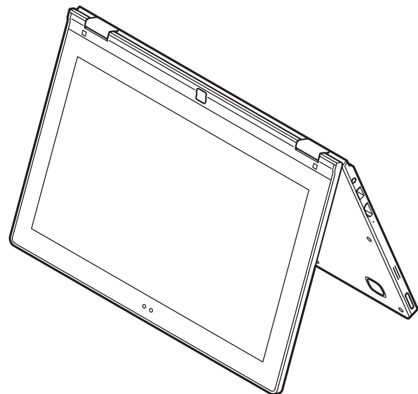
●スタンド スタイル
写真やビデオを見るときはパソコンをしっかり固定できるスタンド スタイルが便利です。



●タブレット スタイル
インターネットを見たりゲームをしたりといったタッチスクリーンを頻繁に利用する場合にはタブレット スタイルが便利です。

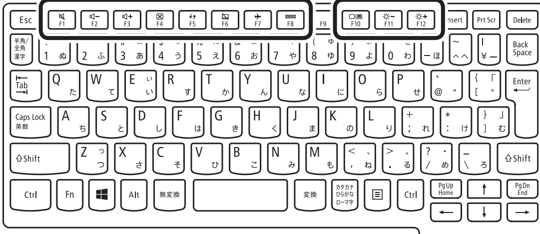


●フォトフレーム スタイル
フォトフレーム スタイルにすることで、プレゼンテーションなどで使うこともできます。



キーボード

キーボード上部にあるファンクションキーを押すと、パソコンの設定を変更する機能を利用することができます。



キー操作	機　能
(【F1】)	消音します。
(【F2】)	音量を下げます。
(【F3】)	音量を上げます。
(【F4】)	現在アクティブなウィンドウやアプリを閉じます。デスクトップアプリが起動していないときにデスクトップで押すと、終了オプションが表示されます。
(【F5】)	デスクトップもしくは現在アクティブなウィンドウの表示を更新します。
(【F6】)	タッチパッドの有効/無効を切り換えます。
(【F7】)	機内モードのオン/オフを切り換えます。
(【F8】)	現在アクティブなアプリのリストを表示します。
(【F10】)	接続された外部ディスプレイとこのパソコンの表示を切り換えます。
(【F11】)	輝度(画面の明るさ)を落とします。
(【F12】)	輝度(画面の明るさ)を上げます。

・【F1】～【F12】としてキーを有効にするには【Fn】を押しながらそれぞれのキーを押します。
・ディスプレイの輝度(画面の明るさ)は周囲の明るさに応じて自動で設定されます。手動で明るさを変更したい場合には、次の手順で設定してください。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「全般」をクリック

4 「画面」の「画面の明るさを自動的に調整する」を「オフ」にする

メモリーカードスロット

このパソコンではSDメモリーカードを使用できます。

重要

- SDIOカードには対応しておりません。
- SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードには対応しておりません。

SDメモリーカードの取り付け方

1. **SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを差し込む**
2. **カチッと音がするまで押して、SDメモリーカードを取り付ける**

SDメモリーカードの取り外し方

1. **デスクトップの画面右下の通知領域にあるをクリックして表示されるまたはをクリックし、表示される「×××の取り出し」で、取り外す機器名をクリック**

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外せます。

2. **カチッと音がするまでSDメモリーカードを押す**
3. **SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットから静かに引き出す**

バッテリについて

このパソコンには、バッテリパックが内蔵されています。そのため、コンセントがない場所でもバッテリの電源のみで使用できます。

重要

バッテリをお使いになる前に、添付の『安全にお使いいただくために』を必ずご覧ください。

バッテリ残量が少なくなったときに、音や文章でバッテリ残量を知らせたり、自動的に省電力状態になるようにあらかじめ設定しておくこともできます。

なお、バッテリについてはJEITA(一般社団法人 電子情報技術産業協会)の「バッテリ関連Q&A集」もあわせてご覧ください。
(http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14)

バッテリ残量が少なくなったときの動作を設定する

バッテリの電源のみでパソコンを使用しているときに、バッテリ残量が少なくなったり、残りわずかになったときのパソコンの動作を、電源プランごとに細かく設定できます。

1. **スタート画面で「デスクトップ」をクリック**
2. **チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**
3. **「コントロール パネル」をクリック**
4. **「ハードウェアとサウンド」をクリック**
5. **「バッテリ設定の変更」をクリック**

6 電源プランの「プラン設定の変更」をクリック

「プラン設定の編集」が表示されます。
ここでは、ディスプレイが暗くなるまでの時間と、画面の明るさ、スリープ状態に移行するまでの時間を設定できます。これ以上の設定が必要でないときは、画面右上の x をクリックし、設定を終了します。

7 「詳細な電源設定の変更」をクリック

「電源オプション」が表示されます。

8 画面一覧に表示されている「バッテリ」の左にある⊞をクリック

表示されるリストでバッテリ残量が少なくなったときの動作を設定できます。

●バッテリ切れの操作
バッテリが切れそうになったときにおこなう操作(「何もしない」(ACアダプタ接続時のみ)「シャットダウン」のいずれか)を指定します。

●低残量バッテリのレベル
バッテリ残量がどのレベルになったときにバッテリ低下時の操作を開始するかを数値で設定します。

●バッテリ切れのレベル
バッテリ残量がどのレベルになったときにバッテリ切れ時の操作を開始するかを数値で設定します。

●低残量バッテリの通知
バッテリ残量が低下したときに通知を表示するかどうか(「オン」または「オフ」)を指定します。

●低残量バッテリの動作
バッテリ残量が低下したときにおこなう操作(「何もしない」「シャットダウン」のいずれか)を指定します。

●省電源移行バッテリ レベル
バッテリ残量がどのレベルになったときに省電力状態に移行するかを数値で設定します。

9 「OK」をクリック

バッテリを充電するときの注意

・できるだけフル充電するようにしてください。バッテリ残量が少ない状態で少量の充放電を繰り返すと、バッテリ残量に誤差が生じることがあります。
・ご購入直後や長期間放置したバッテリは、必ずフル充電してから使用してください。

バッテリのリサイクルについて

重要

- **本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリの交換については、121コンタクトセンターにご相談ください。お客様ご自身でバッテリの取り外しや交換はおこなわないでください。**
- **本機に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。**



Ni-MH
または
Li-ion

ワイヤレスLAN、Bluetooth®機能

ワイヤレスLAN機能やBluetooth®機能をオンにする

重要

機内モードがオンの状態ではワイヤレスLAN機能やBluetooth®機能を使用することができません。【F7】を押して機内モードを切り換え、必ずオフにしてください。

ワイヤレスLANルータへの接続について 参照 『セットアップマニュアル』

1. **チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**
2. **「PC設定の変更」をクリック**
3. **「ワイヤレス」をクリック**
4. **「機内モード」をオフにする**
5. **「ワイヤレス デバイス」の「Wi-Fi」をオンにする**

Bluetooth®機能を利用したい場合は「Bluetooth」をオンにします。

USBコネクタ

このパソコンのUSBコネクタには、プリンタやイメージスキャナなど、さまざまなUSB対応機器を取り付けることができます。このパソコンではUSB 2.0対応機器とUSB 1.1対応機器を取り付けることができます。

基本的な取り付け方は、どのUSB対応機器でも同じです。

USB対応機器の取り付け方

1. **USBケーブルのプラグを、向きに注意してパソコンのUSBコネクタ(●⇐)に差し込む**

USB対応機器の取り外し方

1. **デスクトップの画面右下の通知領域にあるをクリックして表示されるまたはをクリックし、表示される「×××の取り出し」で、取り外す機器名をクリック**

- USB対応機器をはじめてUSBコネクタに取り付けたときには自動でドライバがインストールされますが、手動でドライバのインストールが必要になる機器もあります。その場合には機器のマニュアルをご確認の上、ドライバをインストールしてください。
- USB対応のストレージ機器を取り外す場合には、パソコンがデータの転送を終了しているか確認してください。
- USB対応機器に電源コードがついている場合には、USBコネクタにつなぐ前にコンセントに接続してください。

トラブルを予防するには

ちょっとした注意で、トラブルが起こるリスクを減らすことができます。

適切な場所に設置する

パソコンは精密な機器を組み合わせて作られています。落としたり強い衝撃を与えると、機器に不具合が生じてトラブルが起こることがあります。人やドアがぶつかりやすいところ、不安定な台の上などに設置しないことが、トラブルを回避する第一歩です。また、パソコンを電磁波や熱を発生するものの近くに設置することも、パソコンの不具合の原因になります。

電源は正しく切る

パソコンの使用中にコンセントから電源コードのプラグを引き抜いたりすると、トラブルの原因になることがあります。正しい電源の切り方について詳しくは、『セットアップマニュアル』の「パソコンの電源を切るときは」をご覧ください。

ウイルス対策をする

ウイルスなどの不正プログラムからパソコンを守るために、ウイルス対策ソフトを活用しましょう。

重要

パソコンの動きに違和感があるなど、ウイルスの感染が疑われるときは、第3章の「ウイルスの感染が疑われるとき」(p.32)をご覧になり、対処してください。

パソコンを最新の状態にする

●Windows Updateを使う

Windows Updateは、マイクロソフト社の提供するサポート機能です。インターネット経由でWindowsやマイクロソフト社のソフトを最新の状態に更新したり、問題点を修正できます。また、ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もおこなわれます。

●ストアを使って更新する

Windows ストア アプリの更新プログラムは、「ストア」から適用することができます。

「ストア」について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

万が一のトラブルに備える

パソコンが正常に動作しているときに、あらかじめ準備しておいていただきたいことについて説明しています。

●バックアップを取る(p.20)

Windowsが起動しなくなった場合や大切なデータを誤って消してしまった場合に備えて、データの控え(バックアップ)を取ってください。

●再セットアップ用のイメージをUSBメモリーにコピーする(p.27)

あらかじめ作成しておいた再セットアップ用のイメージを使って再セットアップをおこなうことができます。

大切なデータの控えを取っておく

バックアップの必要性

日常生活でパソコンを活用していると、このパソコンの内蔵フラッシュメモリに次のようなデータが蓄積されていきます。

- 重要な情報(知人の住所やメールアドレス、作成した文書、家計簿など)
- 大切な思い出(デジタルカメラで撮影した写真、ビデオ映像など)
- 趣味や娯楽のためのデータ(音楽、動画、ゲームなど)
- インターネットを使うための情報(お気に入り、パスワードなど)

もし、パソコンが故障したりウイルスに感染したりすると、これらの大切なデータが壊れたり消えたりしてしまうことがあります。また、操作を間違えて、自分で必要なデータを消去してしまうことがあるかもしれません。

万が一のときに備えて、大切なデータは定期的に控えを取っておきましょう。データの控えを取ることを、「バックアップ」(バックアップする、バックアップを取る)と呼びます。

トラブルが起こってデータが消えてしまったときでも、バックアップを使ってデータを復元することができます。

壊れたり消えたりしたデータの復旧サービスもあります(http://121ware.com/navigate/support/restoration/index.html)。

一般的なバックアップの保存先(バックアップ先)は、次のとおりです。

- パソコンの内蔵フラッシュメモリ
- DVD-Rなどの光ディスク
- USB接続の外付けハードディスク
- USBメモリーやメモリーカード

重要

パソコンの内蔵フラッシュメモリをバックアップ先に選ぶと、内蔵フラッシュメモリ自体が故障したとき、もとのデータと同時にバックアップを取ったデータまで失われてしまうおそれがあります。重要なデータは、パソコンの内蔵フラッシュメモリ以外の場所にデータの控えを取っておくことをおすすめします。

バックアップを取る時期について

次のような時期にバックアップをおこなうと効果的です。

- ご購入から数週間経ってデータが増えてきたとき
- 古いパソコンからデータを移動してきたとき
- 前回バックアップしたときから数週間経って、バックアップしていないデータが増えてきたとき

パソコンの使用頻度(データの増え方)によって、バックアップを取るタイミングを調整してください。こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

バックアップ方法について

ここでは、手動でバックアップを取ったり、Windowsの機能を使ってバックアップを取ったりする方法について説明します。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。この作業を定期的におこなえば、より効果的です。
DVD-Rなどの光ディスクにバックアップを取るときは、市販の外付けDVD/CDドライブをご用意ください。また、外付けのハードディスクドライブなどにバックアップを取るときは、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

ファイル履歴でバックアップを取る

重要

ローカル アカウントを作成してログインした状態で、本操作をおこなってください。

ファイル履歴は、Windows RTの機能です。「ライブラリ」、「連絡先」、「お気に入り」、「デスクトップ」フォルダの内容を自動的にバックアップするので、ファイルの破損や紛失に備えることができます。
この機能は、購入時の設定では無効になっています。この機能を利用する場合は、次の手順で有効にしてください。

●ファイル履歴をオンにする

① スタート画面で「デスクトップ」をクリック
② チャーム バーを表示し、「設定」をクリック
③「コントロール パネル」をクリック
④「システムとセキュリティ」の「ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存」をクリック
「ファイル履歴」が表示されます。
⑤「ドライブの選択」で保存するドライブを選ぶ
ファイル履歴用に市販の外付けハードディスクなどを用意するか、ネットワーク上にファイル履歴保存用の共有フォルダを用意してください。
⑥「オンにする」をクリック
コピー先に保存先のドライブが表示され、自動的に1回目のファイルコピーが始まります。
この後は、指定されたスケジュール(購入時は1時間ごと)で指定したコピー先にバックアップされます。コピー先の容量がいっぱいになると、古い履歴から自動的に削除されます。

バックアップする間隔を変更する場合は、左側のメニューにある「詳細設定」で「ファイルのコピーを保存する頻度」を変更してください。

●ファイル履歴から復元する

①「ファイル履歴をオンにする」の手順4までをおこなう
② 左側のメニューの「個人用ファイルの復元」をクリック
最新のバックアップセットが表示されます。
③ 必要なファイルを選んで をクリック
復元が始まります。

重要

ファイルやフォルダを復元させる場合、もとのファイルと同じ場所に上書きされます。
同じ名前のファイルがある場合、「ファイルの置換またはスキップ」の画面が表示されるので、適切な操作を選択してください。
もとのファイルと別の場所に復元させる場合は、 をクリックして表示されるメニューから復元先を選択し、復元先を変更してください。

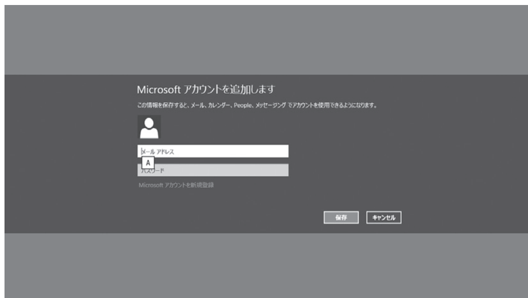
電子メール

このパソコンの電子メールアプリとして用意されている「メール」(Windows ストア アプリ)の設定方法などについて説明します。
「メール」に対応しているメールアドレスを登録したMicrosoft アカウントでパソコンにサインインした場合、特に設定をしなくても、「メール」をすぐに使うことができます。

重要

「メール」を使用するにあたり、一部対応していないメールアドレスがあります。使用可能なメールアドレスかどうかについては、プロバイダ各社にお問い合わせください。

スタート画面で「メール」をクリックして次の画面が表示された場合は、Microsoft アカウントを入力してください。Microsoft アカウントを取得していない場合は、次の画面で「Microsoft アカウントを新規登録」をクリックし、表示された画面でMicrosoft アカウントを新規に取得してください。



実際の画面とは異なる場合があります。

アカウントの追加方法

「メール」では複数のアカウントを登録し、管理することができます。
アカウントは次の方法で追加できます。

1. **スタート画面で「メール」をクリック**

2. **チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**

3. **「アカウント」をクリック**

4. **「アカウントの追加」をクリック**

5. **追加したいメールの種類をクリック**

6. **メールアドレス、パスワードを入力し、「接続」をクリック**

アカウントが追加されます。

第2章

再セットアップ

Windowsの状態が悪くなったときに、「PCのリフレッシュ」でWindowsのパフォーマンスを向上させたり、「PCのリセット」で初期化する方法について説明します。
この操作により、パソコンのデータや設定が消えてしまいます。
作業を始める前に、この章の説明をよくお読みください。

この章の操作をおこなう前に

「Windowsをリフレッシュする」の操作をおこなうと、主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを除く内容は購入時の状態に戻ります。
また、「PCを初期状態に戻す」、「再セットアップ」の操作をおこなうと、パソコンが購入時の状態に戻り、作成したデータや設定は初期化されます。

パソコンに問題がある場合にはウイルスチェック(p.32)を試してみてください。問題が解決することがあります。

Windowsをリフレッシュする（PCのリフレッシュ）

PCのリフレッシュはWindows RTの機能です。主要な設定や個人データ、Windows ストア アプリを保持したままOS（Windows RT）を再インストールします。

PCのリフレッシュで保持される主な項目

・ユーザー アカウント
・Wi-Fiやモバイルネットワーク接続設定
・壁紙
・ドキュメントのデータ
・Windows ストア アプリ　など

重要　PCのリフレッシュで保持されない内容について

ファイルの関連付けやディスプレイの設定、Windows ファイアウォール設定など、設定を復元すると問題を再現する可能性のある設定は購入時の状態に戻ります。
なお、PCのリフレッシュ後、再設定のために、復元されなかったデスクトップ アプリなどの一覧がHTMLファイルでデスクトップに作成されます。
保持されない内容については、あらかじめバックアップを取ることをおすすめします。

PCのリフレッシュをおこなう

重要

この操作は、「管理者」のアカウントでおこなってください。

1. **チャーム バーを表示し、「設定」をクリック**
2. **「PC設定の変更」をクリック**
3. **「全般」をクリック**
4. **「PCをリフレッシュする」の「開始する」をクリック**
5. **「次へ」をクリック**

6 「リフレッシュ」をクリック

PCのリフレッシュが開始されます。

PCのリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンが起動します。

7 パソコンにサインインする

サインインすると、PCの準備が始まります。完了すると、パソコンが使えるようになります。

この後は、必要に応じてバックアップを取ったデータを復元してください。

PCを初期状態に戻す（PCのリセット）

PCのリセットはWindows RTの機能です。パソコンをご購入時の状態に戻します。セットアップ後におこなった設定や個人データは消去されます。

PCのリセットの準備をおこなう

①必要なものを準備する

・『セットアップマニュアル』
・「ユーザーズマニュアル」（このマニュアル）

②バックアップを取ったデータの確認

この方法で再セットアップをおこなうと、内蔵フラッシュメモリのデータがすべて失われます。操作を始める前に、外部のディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
なお、DVD-Rなどの光ディスクにバックアップを取るときは、市販の外付けDVD/CDドライブをご用意ください。また、外付けのハードディスクドライブなどにバックアップを取るときは、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

③初回セットアップで使用した次の情報を控える

・ Microsoft アカウントの場合
  - Microsoft アカウントのメールアドレスとパスワード
  - ワイヤレスLANのネットワーク名（SSID）とパスワード
・ ローカル アカウントの場合
  - ユーザー名とパスワード

重要

- **再セットアップ後にバックアップしたデータを復元する際、ユーザー アカウントが一致しないとデータが復元できなくなります。**
- **家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合、それらのユーザー アカウントも一緒に控えておくことをおすすめします。**
- **ユーザー アカウントを控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。**

初回セットアップ時にローカル アカウントでセットアップした後、Microsoft アカウントを取得した場合は、新たに取得したMicrosoft アカウントでセットアップすることもできます。

④インターネットの設定を控える

インターネットの設定も初期化されるため、次の項目を控えてください。プロバイダの会員証に情報が書かれている場合は、会員証を準備してください。

・ユーザーID
・パスワード
・電子メールアドレス
・メールパスワード
・プライマリDNS
・セカンダリDNS
・メールサーバー
・ニュースサーバー

また、必要に応じてワイヤレスLANの設定を控えてください。

⑤市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外し、『セットアップマニュアル』で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。
メモリースロットなどにもメディアがセットされていないか確認してください。セットされている場合は、すべて取り出してください。

PCのリセットをおこなう

重要

この操作は、「管理者」のアカウントでおこなってください。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「PC設定の変更」をクリック

3 「全般」をクリック

4 「すべてを削除してWindowsを再インストールする」の「開始する」をクリック

5 「次へ」をクリック

「ドライブを完全にクリーンアップする」を選ぶと、すべてのドライブのデータが削除されます。

重要

パソコンを譲渡や廃棄するときは、「ドライブを完全にクリーンアップする」を選ぶことをおすすめします。

6 「初期状態に戻す」をクリック

パソコンが再起動し、PCのリセットが開始されます。

PCのリセットが完了すると、パソコンが再起動します。『セットアップマニュアル』をご覧になり、セットアップをおこなってください。
この後は、「PCのリセットが完了したら」をご覧ください。

PCのリセットが完了したら

①周辺機器を取り付ける

市販のプリンタ、スキャナなどの周辺機器を取り付け、設定しなおします。ご利用の周辺機器に添付のマニュアルをご覧になり作業してください。

②バックアップを取ったデータを復元する

バックアップしておいたデータがある場合には、パソコンに復元してください。

重要

- **複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。スタート画面で画面右上のユーザー アカウントをクリックし、切り換えたいアカウント名をクリックして別のユーザーで再度サインインし、ユーザーごとにデータを復元してください。**
- **複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザー アカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー アカウントをもとにユーザー アカウントを作成してください。**

③Windowsなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows Updateなどをおこなってください。また、Windows Defenderを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプなどをご覧ください。

再セットアップ用のイメージを使って再セットアップする

頻繁にエラーやフリーズが発生したり、動作が極端に遅くなるなど、Windowsの状態が良くない場合にパソコンを購入時の状態に戻すことができます。通常は、内蔵フラッシュメモリ内に準備されている専用のデータを用いておこないますが、次のような専用のデータが使えない場合に備えて再セットアップ用のイメージをUSBメモリーにコピーしておくことをおすすめします。

- **内蔵フラッシュメモリの再セットアップ用データを削除した場合**
- **内蔵フラッシュメモリのデータを消去する場合**

再セットアップ用のイメージは、パソコンの内蔵フラッシュメモリから「再セットアップ用データ」をUSBメモリーなどに移して作成します。万が一のときに備えて、パソコンが正常に動作しているときに、再セットアップ用のイメージをUSBメモリーにコピーしておくことを強くおすすめします。

再セットアップについて詳しくは、「この章の操作をおこなう前に」(p.24)をご覧ください。

重要

Windows RTには、主要な個人データ、Windows ストア アプリを保持したままOS(Windows RT)を再インストールする「PCのリフレッシュ」があります。

再セットアップ用のイメージをコピーする

再セットアップ用イメージのコピーには、20〜30分程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

USBメモリーを準備する

再セットアップイメージの作成には、USBメモリーが必要です。

重要 USBメモリーを使う際の注意

- **再セットアップイメージを複数のUSBメモリーに分割して書き出すことはできません。**
- **再セットアップイメージの作成には4GB以上のUSBメモリーが必要です。**
- **USBメモリー内のデータはすべて削除されますのでご注意ください。**

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、エラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に起動中のすべてのソフト(ウイルス対策ソフトなどを含む)をすべて終了させてください。
終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

重要

再セットアップイメージのコピー中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、サインアウト、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

USBメモリーにコピーする

再セットアップ用のイメージは次の手順でコピーします。

1. **USBメモリーを本体右側面のUSBコネクタに取り付ける**
2. **スタート画面で「デスクトップ」をクリック**
3. **チャーム バーを表示し、「設定」-「コントロール パネル」をクリック**
4. **「コントロール パネル」の右上にある検索ボックスに「回復」と入力する**

   検索結果が表示されます。
5. **検索結果から「回復」をクリック**

6 「高度な回復ツール」の「回復ドライブの作成」をクリック

7 「ユーザー アカウント制御」が表示されたら「はい」をクリック

8 「回復ドライブ」で「回復パーティションを PC から回復ドライブにコピーします。」が☑であることを確認して「次へ」をクリック

9 「USBフラッシュドライブの選択」で、「使用可能なドライブ」がUSBメモリーを挿入したドライブであることを確認し、「次へ」をクリック

10 「回復ドライブの作成」で「作成」をクリック

11 「回復ドライブの準備ができました」が表示されたら「完了」をクリックし、USBメモリーを取り外す

USBメモリーの取り外し方について 参照 「USBコネクタ」(p.18)

再セットアップする

コピーした再セットアップ用のイメージを使って、次の手順で再セットアップがおこなえます。

1 USBメモリーを本体右側面のUSBコネクタに取り付ける

2 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

3 「電源」をクリックし、【Shift】を押しながら「再起動」をクリック

4 「オプションの選択」で「デバイスの使用」をクリック

5 「USB Drive」をクリック

6 再起動したら、「Choose the language」画面で「日本語(日本)」を選択する

7 「キーボードレイアウトの選択」画面で下の「その他のキーボードレイアウトを表示」を何回かクリックし、「日本語」を選択する

8 「オプションの選択」で「トラブルシューティング」を選択する

9 「PCを初期状態に戻す」をクリック

10 「次へ」をクリック

11 「Windows RT」をクリック

12 「ドライブを完全にクリーンアップする」をクリック

13 「初期状態に戻す」をクリック

「Resetting your PC」と表示され、再セットアップが開始されます。
再セットアップが完了したら、「PCのリセットが完了したら」(p.26)をご覧になり、周辺機器の取り付けやデータの復元などをおこなってください。

第3章

トラブル解決Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、この章で説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。

トラブル解決への道



トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜きACアダプタを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇この章「トラブル解決 Q&A」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

Q&A情報やウイルス/セキュリティ情報など、いろいろなサポート情報を見ることができます。
http://121ware.com/support/

◇マイクロソフトサポート技術情報(Microsoft Fix itソリューションセンター)

Windows RTに関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。
http://support.microsoft.com/fixit

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

パソコンを使っていて反応しなくなった・フリーズしたとき

急にマウスが動かなくなったり、画面が反応しなくなったときは、画面の表示などに時間がかかっているか、ソフトやWindowsに異常が起きている(フリーズ、ハングアップ)可能性があります。しばらく待っても変わらないときは、次の対処をしてください。

●操作をキャンセルしてもとに戻す
ソフトに「元に戻す」、「取り消し」、「キャンセル」などの機能があるときは、使ってみてください。

●異常が起きているソフトを終了させる
通常の方法でソフトを終了できないときは、次の手順で、異常が起きているソフトを終了できます。

重要

この方法で終了した場合、データは保存できません。

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す

2 「タスク マネージャー」をクリック

デスクトップに「タスク マネージャー」が表示されます。

簡易表示　　詳細表示

3 「応答なし」と表示されているタスク(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

「詳細」画面の場合は、「プロセス」タブにタスク(ソフト)が表示されます。

●Windowsをいったん終了する
次の手順でWindowsをいったん終了(シャットダウン)し、電源を入れなおしてください。問題が解決する場合があります。

1 チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

2 「電源」-「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、次の「Windowsを強制的に終了する」をご覧ください。

Windowsを強制的に終了する

「Windowsをいったん終了する」の手順で電源が切れない場合は、次の手順で強制的に電源を切ることができます。

重要

- **ソフトなどで作成し、保存していなかったデータは消えてしまいます。**
- **この方法で電源を切ることは、パソコンに負担をかけるため、どうしても電源が切れない場合以外は使用しないでください。**
- **SDメモリーカードなどのメモリーカードやUSBメモリーがセットされているときは、取り外してから電源を切ってください。**
- **電話回線を使うソフトを起動しているときは、電源を切る前にソフトを終了してください。**

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れるまで押し続ける(通常、4秒以上)

この操作を「強制終了」といいます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

3 Windowsが起動したら、チャーム バーを表示し、「設定」をクリック

4 「電源」-「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。
この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコン本体の電源スイッチを押し続けてください。
それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

ウイルスの感染が疑われるとき

このパソコンにはウイルス対策ソフトとして「Windows Defender」が用意されています。詳しくは、「Windows Defender」のヘルプをご覧ください。

重要

- **「Windows Defender」のヘルプを参照するにはインターネットに接続されている必要がありますが、ウイルス感染が疑われる場合は、安全のためにインターネットとの通信を遮断することが必要です。「Windows Defender」のヘルプを参照した後、すぐにワイヤレス機能をオフにしてください。**
- **パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。**

コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人にかかわらず、次の届け先に届け出てください。届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX: 03-5978-7518
E-mail: virus@ipa.go.jp
URL: http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL: 03-5978-7509

パソコンの様子がおかしい



症状	原因	対処方法
煙や異臭、異常な音がする	－	すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。 電源が切れないときは、本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。
手でさわれないほど熱くなっている	－	
パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた	－	
ピーッというエラー音がした	内蔵フラッシュメモリの障害の可能性がある	メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。
ACアダプタから異音がする	－	ACアダプタの仕様によるもので、故障ではありません。 ACアダプタにはAC電源（交流）をDC電源（直流）に変換するトランスや電圧を安定させたりノイズを除去するコンデンサなどの部品が内蔵されており、ACアダプタを使用（バッテリ充電中を含む）すると、これらの部品が振動するため、音が発生する場合があります。 これは、パソコンだけでなく液晶ディスプレイや周辺機器など、ACアダプタを使用しているすべての機器でおこります。
パソコンが熱をもっている	パソコンの起動時、または多くの処理を同時におこなっている	内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
	上記の対処方法で解決しない場合	あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口（121コンタクトセンター）へお問い合わせください。

マウス、キーボード、タッチパッドがおかしいとき

重要

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理をするのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示がないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

症状	原因	対処方法
マウス、タッチパッドを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い	ー	マウスポインタがの形に変わっていないか確認してください。 マウスポインタがの形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボード、タッチパッドの操作が受け付けられないことがあります。処理が終わるまで待ってください。
	上記の対処方法で解決しない場合	ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。 「パソコンを使っていて反応しなくなった･フリーズしたとき」(p.31)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。
タッチパッドが正しく動作しない	指先やタッチパッドが汚れている	水分や油分などの汚れをふき取ってから操作してください。
	タッチパッドの2か所以上に同時に触れている	マルチタッチ･ジェスチャーでの操作以外では、タッチパッドの1か所だけに触れるようにしてください。
	タッチパッドが無効になっている	【F6】を押してタッチパッドの有効/無効を切り換えてください。
キーボードに飲み物をこぼしてしまった	ー	キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜いて、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。 **重要** ● **ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。** ● **パソコンのそばで飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。**

電源／バッテリのトラブルがおきたとき

パソコンのトラブルには、基本ソフトであるWindows RTで発生した問題も含まれています。
Windows RTの開発元であるマイクロソフト社が、それらの問題の解決策や修正プログラムを、同社のホームページで提供しています。
このマニュアルに記載されている対処方法を試してもトラブルが解決しないときは、次のマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://support.microsoft.com/fixit

症状	原因	対処方法
電源スイッチを押しても電源が入らない	ACアダプタを接続していない状態でバッテリ容量が不足している	ACアダプタを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。ACアダプタを接続してから電源を入れても起動しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。
電源が切れない 強制的に電源を切りたい	ー	「Windowsを強制的に終了する」(p.31)をご覧ください。
パソコンの電源が勝手に入ってしまう	ー	インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやソフトなどの更新プログラム)をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることもあります。
パソコンの電源が勝手に切れる	ー	このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。この場合は、電源が切れたわけではありません。
電源スイッチを入れたら、いつもと違う画面が表示された	SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされている	SDメモリーカードなどのメモリーカード、USBメモリーなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れなおしてください。
バッテリの駆動時間が短くなった フル充電できない	ー	バッテリの駆動時間が短くなったり、フル充電できなくなったときは、バッテリ交換をおすすめします。 **重要** **バッテリの交換については、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。このパソコンにはバッテリが内蔵されています。お客様ご自身でバッテリの取り外しや交換はおこなわないでください。** 使用済みバッテリのリサイクルについて 参照 「バッテリのリサイクルについて」(p.17)

症状	原因	対処方法
電源スイッチを押しても、省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない	省電力機能（スリープ状態）に対応していないソフトや周辺機器を使用している	対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。
	スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けた	強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容が消えてしまう場合があります。
	Windowsの終了中に液晶ディスプレイを閉じた	このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。
	Windowsの終了中に省電力状態にした	
	Windowsの終了中に電源を切った	
	バッテリの残量が少なくなっている	ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

省電力状態からの復帰（再開）に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。
・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・ 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。
・ プリンタへ出力中のとき
・ サウンド機能により音声を再生しているとき
・ 内蔵フラッシュメモリを読み書き中のとき
・ 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

使用中に画面に何も表示されなくなったとき



症状	原因	対処方法
ディスプレイ(画面)に何も表示されない	ディスプレイが省電力状態になっている	キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、タッチパッドに触れてみてください。 ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないとディスプレイの電源が切れるように設定されています。
	パソコン本体が省電力状態になっている	パソコン本体の電源スイッチを押してください。 ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。
	ー	省電力状態から正常に復帰できないときは、「電源スイッチを押しても、省電力状態になる前の、もとの画面が表示されない」(p.36)をご覧ください。
	ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっている	【F11】、【F12】でディスプレイの輝度(明るさ)を調節してください。 【F11】を押すと、液晶ディスプレイが暗くなります。【F12】を押すと、液晶ディスプレイが明るくなります。
	外部ディスプレイに接続している	【F10】または【 】+【P】を押して表示される画面で【P】、【↑】、【↓】を使って画面の出力先を変更し、【Enter】を押してください。 いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます。 また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

メッセージが表示されたとき



症状	原因	対処方法
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された	−	サインインしているユーザー アカウントの種類により対応が異なります。 **管理者の場合** 「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたときは、操作やプログラムの内容をよく確認し、「はい」をクリックしてよいかどうか判断してください。不正なアクセスやウイルスなどによって、悪意のある操作やプログラムの実行がおこなわれようとしたとき、「いいえ」をクリックすることで被害を防げることがあります。 **標準の場合** 「標準」のユーザー アカウントでパソコンを使用しているときは、「ユーザー アカウント制御」画面で「管理者」のユーザーのパスワードを入力する必要があります。

パスワードのトラブルがおきたとき



症状	原因	対処方法
パスワードが間違っているというメッセージが表示される	キャップスロックの状態が変更されている	必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
Windowsの パスワードを忘れた	－	**Microsoft アカウントのパスワードの場合** オンラインでリセットすることができます。詳しくはWindowsのヘルプとサポートをご覧ください。 **重要** **リセット後に設定した新しいパスワードでサインインするには、このパソコンがインターネットに接続している必要があります。** **ローカル アカウントのパスワードの場合** 一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないで➔をクリックすると)、「パスワードが正しくありません。入力し直してください。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。 または、このパソコンの管理者権限を持った、ほかのユーザー アカウントを登録してあれば、そのユーザー アカウントでサインインし、次の手順でパスワードを設定しなおすことができます。 1. スタート画面で「デスクトップ」をクリック 2. チャーム バーを表示し、「設定」をクリック 3.「コントロール パネル」をクリック 4.「ユーザー アカウントとファミリー セーフティ」をクリック 5.「ユーザー アカウント」-「別のアカウントの管理」をクリック 表示された画面で、パスワードを忘れてしまったユーザーをクリックし、パスワードを設定しなおしてください。 **重要** **ほかのユーザー アカウントでサインインしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイト、ネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。**
	上記の対処方法で解決しない場合	再セットアップについて 参照「第2章 再セットアップ」(p.23)

その他のトラブル



症状	原因	対処方法
パソコンを落とした	ー	外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。 電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。パソコンが故障している可能性があります。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へ電話してください。

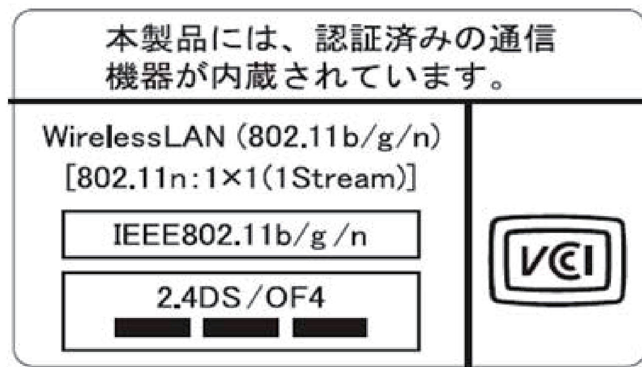
付録

ワイヤレス機能について

・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
・本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
・その他、本製品から移動体識別用特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)までご相談ください。

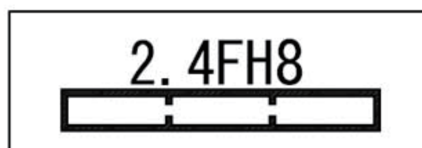
●ワイヤレスLAN機能について

本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域(2.4GHz～2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz～2.47075GHz)が回避可能です。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。



●Bluetooth®機能について

本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域(2.4GHz～2.4835GHz)を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域(2.427GHz～2.47075GHz)と重複しており、この重複する周波数帯での干渉を回避することができません。変調方式としてFH-SS方式を採用しており、与干渉距離は80mです。



索　引

数字

アルファベット

かな

初版 **2012年11月**
NEC
853-811064-265-A

LaVie Y
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）